

頑張ってます！駅を守る会 その2

わかてつ便利

発行、若桜鉄道もりあげ隊



八頭町のパフォーマンスグループが集結し、熱いステージを繰り広げた（写真は中北連）＝ぶらっとフェスタ



駅がビアガーデンとなってにぎわいを見せた船岡駅ビール



住民手作りの温かいまつりになった「八東駅まつり」

若桜鉄道沿線の駅を中心に地域活動を頑張っておられる活性化団体がこの夏イベントを開催されました。安部駅、八東駅に続き今回は郡家駅、因幡船岡駅、牟婁駅を紹介します。

ぶらっとぴあで初開催

郡家駅

8月5日「ぶらっとフェスタ」が郡家駅にて開催されました。駅前ロータリーを封鎖して作られた特設ステージでは、八頭町内外の地域を代表する踊り子たちが踊りを披露し、祭りを盛り上げました。また、ジビエや地元食材を使った食が堪能でき、射的やスマートボールなどの遊びも充実したぶらっと屋台村もお楽しみいただけました。猛暑の中で行われたイベントでしたが、多くの方に来場いただきさらに熱いイベントとなりました。

今年も熱く駅ビール!

因幡船岡駅

町観光協会主催「第2回因幡船岡駅ビール」は7月22日、地元の坂町一の会と活性化の会が全面協力して開催されました。駅舎の切符売り場から注文したビールが出てくるというユニークな仕掛け。普段は駐車場となっているスペースがビアガーデン会場となり、おでんややきとり、サイコロステーキなど、冷えたビールに相性抜群のつまみも出店ブースにズラリ。会場に訪れたグループや家族連れらは、舌鼓を打ちながら夏の夕べを楽しんでいました。



牟婁駅に集まったハヤブサ（写真提供・河野哲也さん）

ハヤブサ1600台集結

牟婁駅

「第9回牟婁駅まつり」が8月6日、竹林公園を会場に開催されました。今年も全国から1600台のオートバイが集結。聖地牟婁にもたくさんハヤブサライダーが集まり、記念写真を撮ったり情報交換をするなどして交流を深めていました。

八東駅まつり

八と十の語呂合わせで8月10日は「八東の日」と決めて初めて祭りを開催しました。普段は静かな駅周辺は沿線住民の皆さんで賑わいました。最後は古くから地元で歌い継がれている「八東小唄」に合わせ手踊りを皆で踊り、来年も8月10日ここで会うことを約束しました。

CONTENT

- 沿線の「守る会」活動紹介(その2) 終
- イベント情報(10月~12月)
- 山田前社長からメッセージ
- わかてつエッセー
- やずフータン村まつり、11月開催

● 広告主を募集しています! ●
若桜鉄道を応援している事業者、個人の方の広告を募集しています。一枠五千円です。広告費はすべて「わかてつ便利」の発行に関わる費用に使わせていただいています。イベントのお知らせなどにも活用ください!

竹林浴の里 船岡竹林公園

グリーンシャワーを浴びながら おもいっきり自然体験!

施設ご利用料金

- バンガロー (4棟) 遊具有料
 - 1泊: 1棟 9,000円 (定員5名)
 - 1日貸 (10時~14時): 1棟 2,000円
 - ※お風呂は、各棟の共有、トイレはシャワー
- テントサイト (11区画)
 - 1区画: 1,000円
 - レンタルテント1張: 500円
 - キャンプ用品一式: 1日 200円
- 収束機 (4基)
 - 880テーブル1張: 2時間 1,000円
- レンガ炉 1基: 200円

お問合せ TEL 0858 (73) 8100 営業時間: 8:30~17:30 (管理棟 17:00まで)
休 日: 毎週水曜日 (祝祭日の場合、翌日前倒)

八頭郡八頭町西谷994-1 <http://www.lowry.yazu.tottori.jp/kankou/> 入園無料

若桜鉄道沿線の駅を応援

若桜駅・牟婁駅 (牟婁駅は土曜のみ)
ぶらっとぴあ やず (郡家駅) で
好評発売中!

1500円

発売元
鉄道グッズ・鉄道用品・萌キャラ・企画・制作・販売
鉄道部品買取

サンショップ大阪

〒530-0001
大阪市北区梅田 1-3-1・2F 205
E-mail: sanshoposaka@gmail.com



<山田社長を囲む会開催>さる6月17日、八東公民館で、退任の決まった若桜鉄道山田和昭社長を囲む会が開催され約60人が参加しました。親交のあった人たちが集まり、山田氏を囲んで歓談し、思い出話に花を咲かせました。最後に山田氏作詞の「若桜鉄道旅経つ始発駅」を全員で歌いました。



山田 和昭より



さる6月14日の退任から諸事に追われ、あい

さつもろくにできず大変失礼いたしました。この場を借りてお詫びとお礼を申し上げます。

この3年間、皆様のおかげで当初の方策はすべて道筋がつかまりました。皆で力を合わせたS.L.走行社会実験など、大イベントで全国に若桜谷を発信し、その裏で営業・啓発・計画・社内改善も進めることができました。千人を超える団体ツアーを行い、水戸岡デザインの見光列車も来年には登場する予定です。車両も若桜・八頭両町が持つことになり、通学定期券の助成で経営も安定し、念願の公共交通網形成計画を

しっかり手を取り合って計画実現へ

作ることができました。

つぎは若桜鉄道の社員が、町長をはじめ行政・住民・日本交通などの皆様としっかりと手を取り合い、計画を実現する段階です。成功すれば若桜谷は鳥取市と30分間隔で結ばれ、飛躍的に便利になり、市内に引越す理由も消え若桜谷と若桜鉄道は存続できます。

退任後、もりあげ隊、光澤寺&夢豆庵、稲門会、若桜の皆様など有志の方々に送別会を開いていただき、温かいねぎらいと励ましの言葉をいただきとても嬉しかったです。本当にありがとうございました。おかげさまで元気にやっています。10月からは三重県津市に移り、航路「津ペルライン」の振興に努めます。もしお近くにおいでの際はぜひお立ち寄りください。(前若桜鉄道株式会社代表取締役社長)

わかつてエッセー

「鉄橋」

美田 悦子(旧姓鎌谷)
千葉県船橋市在住

あれはもう50年前のことなのに、あのときの怖さは今、思い出しても身の毛がよだちます。

女学校一年生の仲良しグループ5人。あの日は土曜日で、学校の授業は午前中でした。

授業が午前中の時はいつも隣の駅まで帰り、あとは30分くらい歩いて帰るのですが、その日はお天気もよく、みんなでぶらぶらと歩いているうちに「近道だから鉄橋を渡って帰ろうか?」と話が決まり、150メートルばかりある鉄橋を渡り始めたのです。

はるか真下は水深もかなりある急流です。始めは面白半分にはしゃぎながら鉄橋を歩いていましたが、3分の1くらい進んだころでしょうか・・・、線路に渡してある板の隙間から真下の急流が渦を巻いて迫ってきて、体がその中に吸い込まれていくのです。

目が回りました。その時足がすくみ、一瞬気が遠くなりそうでした。下駄を脱いで裸足になり、目をつむって四つんばいになり、震えながら必死で一足、一足と進んでいきました。

渡り終えて、へなへたと線路ばたの土手にへたり込むと、みんなが「ああ、恐ろしかった」「死ぬかと思った」と口々にいいました。どの顔も真っ白でした。

空高くヒバリがさえずり、れんげ畑のピンク、麦畑の緑、菜の花の黄色。

絵のように美しい景色が向こうの山のふもとまで続いているのが目に入ったのは、だいぶん時が過ぎて人心地に戻ったときでした。

今も時折故郷に戻りますが、車でそこを通るとき、ちょっと降ろしてもらってその景色を眺めます。友の顔が次々と脳裏によみがえり、たまらない程の懐かしさがこみ上げてきます。

数年前、あのときのグループ全員が集まった折その時の話が出て、誰が「鉄橋を渡ろう」と言い出したのか、誰も思い出せませんでした。

遠い少女時代の思い出です。

ブータン写真家・関健作氏も来町(昨年の丹比駅)



「幸せ」について考えよう 11/18
やずブータン村まつり

終点の若桜駅の一つ手前の駅が丹比駅だ。私が高校時代の三年間、通学に使った駅。それだけに人一倍愛着がある。昨年は、「やずブータン村まつり」のイベントでも使った。やっぱり駅にはいろんな思い出があり、物語があるのだ。

そして今年も11月18日に、「やずブータン村まつり」を開催することになった。やずブータン村名誉村長で、昨年も丹比駅でブータンのトークをしていた関健作氏の写真が、昨年度の文部科学大臣賞を受賞した記念でもある。

今年もこの丹比駅が、幸せの村、やずブータン村の玄関になる。そして9月には、私もブータン王室から招待を受け、ブータンに行くことになった。関さんと私のブータントークに、冒険家中和則氏に加わって、八頭町の幸せについて語ります。そう、幸せの村の入り口、それが僕の思う丹比駅なのです。(光澤寺住職、宗元英敏)

沿線イベント(10~12月)

- 10月 8日(日) 第7回因幡船岡駅ふれあい市 麒麟獅子 澤神社大祭
- 9日(月・祝) 八頭町マラソン大会
- 14日(土) 第7回家族ふれあい人形劇 in やず @ぶらっとびあ・やず
- 22日(日) 八頭町マルシェ @八東総合運動公園
- 21・22日(土・日) フルーツ総合センターまつり
- 11月 5日(日) 第1回紅葉の扇ノ山 林道ウォーキング
- 18日(土) 第5回やずブータン村まつり@光澤寺
- 26日(日) 第22回 物産館みかど花御所柿まつり
- 12月 31日(日) 光澤寺(大晦日イベント)
- 31日(日) ~ 1月3日(水) 成田山青龍寺(年越し・初詣イベント)

